

平成 23 年度清友幼稚園 学校評価計画

作成：清友幼稚園

1. 園の教育目標

幼児の心身ともに健康な成長発達のために適切な環境を用意し、幼児期にふさわしい集団生活が展開されるよう配慮した幼児教育を目指している。教職員との信頼関係に支えられた活動、直接体験、友だちとのかかわりを通じて、個々の幼児が情操豊かで、良き生活習慣や人間関係に向かう意欲や態度を培う保育に取り組む。

本園では目指す教育目標として次の3項目を掲げる。

1. 心身共に健康で情操豊かな子どもに育む。
2. 誰とでも手をつなぎあっている子どもに育む。
3. 人の話がしっかり聞ける子どもに育む。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

1. 本園の教育・保育内容の充実

- (1) 今年度においても、本園の目指す方向を再度確認しながら教育・保育を進めていく必要がある。各学年リーダーを中心に、昨年度取り組んできた内容を踏まえ、本園の教育・保育の原点を確認しあう。
- (2) 教職員の信頼関係を築き、良好な人間関係の構築を大事にする。今年度もフリー教員の存在を最大限活かす体制を採り、保育の援助指導面と管理面を分担し合う体制が必要である。
- (3) 教育・保育内容の充実
 - ① 預かり保育の充実：長期休暇（夏期、冬期）に預かり保育を実施していく。
 - ② 指導内容の充実：設定保育の中で、当園の基本教育目標に立ち返り、今社会に求められている基本教育を見直していく。
 - ③ 食育に対する取り組み：給食設定は行なわないが、保護者に対してお弁当づくりの意義などを伝え、食育に関する必要な情報提供を行なう。
 - ④ 教員の指導力の向上：園内外の研修の充実を図り、教員の指導力向上を図る。
 - ⑤ 地域開放・小学校との連携：未就園児に園庭を開放していく。卒園児が修学予定の地域小学校（主に6校）と連携し、小1プロブレムに対応していく。
- (4) 教職員の育成・評価制度において、教職員の評価を充実し、同時に能力開発を図る。

2. 園の施設、設備、遊具などの総点検

- (1) 施設、園庭、設備、遊具などの安全を、常時定期的に確認し、少しでも危険が予測される場合には速やかに改善していく。

3. 安全管理体制の整備、強化

- (1) 火災、災害などの発生に際して園児、教職員をはじめ園内の安全を確保するために、通報、安全確保、避難、保護などの方法、手段を徹底する。
- (2) 不審者、侵入者などから園児をどう守るか、防御・連携体制を強化する。

4. 子育て支援の実施

(1) キンダーカウンセラー事業として、専門家を招聘し、在園児であるなしに関わらず地域の子どもの発達に関する相談に応じていく。

5. 教職員の給与体系の見直し

(1) 従来の給与体系を一定維持しつつ、教職員の職務能力に応じた体系に改定していく。

6. 園に対する保護者の満足度把握、情報共有及び情報公開

(1) 私学の独自性に配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を確認し、地域社会に求められる本園の将来ビジョンを策定は引き続き行なっていく。

(2) 保護者と教育・保育状況の情報共有をしていく。

(3) 本園ウェブサイトにより、自己評価及び会計情報を公開していく。